

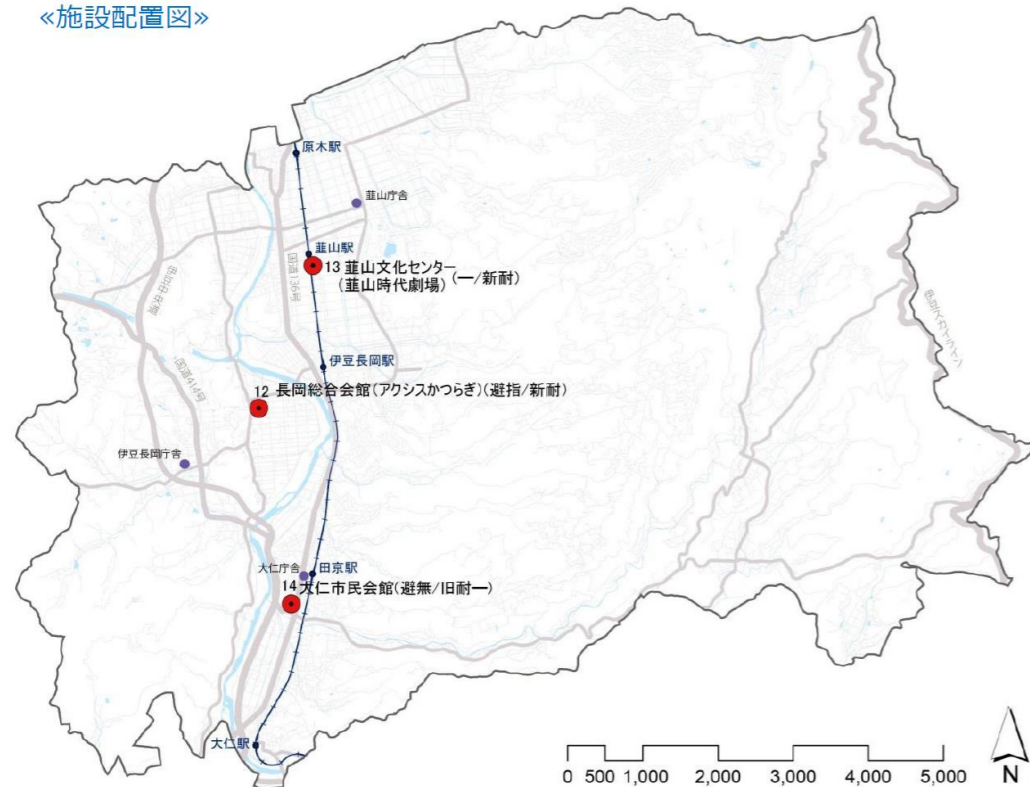
(1) 市民文化系施設/b.文化施設

b.文化施設

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(入館者数)2013~2015年度の平均(人)	歳出(円)2013~2015年度の平均	歳入(円)2013~2015年度の平均
12	長岡総合会館(アクスかつらぎ)	6,211.00	8,920.47	—	23	全所有	直営	63,112	87,570,333	12,008,000
13	葦山文化センター(葦山時代劇場)	21,698.51	4,882.00	—	20	全所有	直営	70,956	61,879,000	8,237,667
14	大仁市民会館	6,742.53	2,119.04	—	42	全所有	直営	27,112	12,186,667	1,947,000
延べ床面積合計		15,921.51		公共施設全体に占める割合	9.27%					

《施設配置図》



凡例 ● 文化施設  
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等  
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無  
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震  
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有  
 —: その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部  
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

(1) 市民文化系施設/b.文化施設

b.文化施設

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(入館者数)2013~2015年度の平均(人)	歳出(円)2013~2015年度の平均	歳入(円)2013~2015年度の平均
12	長岡総合会館(アクスかつらぎ)	6,211.00	8,920.47	—	23	全所有	直営	63,112	87,570,333	12,008,000
13	葦山文化センター(葦山時代劇場)	21,698.51	4,882.00	—	20	全所有	直営	70,956	61,879,000	8,237,667
14	大仁市民会館	6,742.53	2,119.04	—	42	全所有	直営	27,112	12,186,667	1,947,000
延べ床面積合計		15,921.51		公共施設全体に占める割合	9.27%					

《施設配置図》



凡例 ● 文化施設  
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等  
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無  
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震  
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有  
 —: その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、救護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部  
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

## 公共施設再配置計画見直し 新旧対照表 (1) 市民文化系施設/b.文化施設

旧(平成 30 年 3 月策定)

## (1) 市民文化系施設/b.文化施設

## ア 施設の概要

- 文化施設は、文化及び観光の振興を図るため、市内に 3 施設を設置していましたが、大仁市民会館は、老朽化のため施設の使用を取りやめ、代替施設として、旧大仁高校を借受け、市民交流センター（大仁くぬぎ会館）として 2017（平成 29）年 4 月から運用を開始しています。
- いずれの施設も、大ホール、多目的ホール、集会室、ギャラリー、会議室、研修室、展示室、資料室、視聴覚室などで構成され、市民が各種イベントや会議などで利用しています。
- 大ホールや多目的ホールは、音楽や演劇などに特化した機能が備わっていますが、施設間の機能の重複がみられ、稼働率が 50%を下回る施設もあります。
- また、会議室や研修室などの貸館機能についても、施設間の機能の重複がみられます。

## イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長岡総合会館(アクシスカつらぎ)」「葦山文化センター（葦山時代劇場）」については市の文化・芸術活動の中心施設であり、利便性も高く、今後も継続的に市が提供主体となることが望ましい施設です。</li> <li>施設に必要とされる集客力や多様なニーズに対応するため、民間事業者による運営の検討も必要です。</li> </ul>	行政主体 (一部民間)
提供圏域	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設は市域全体や市外からの利用もあり、広域的な提供圏域を有しています。</li> </ul>	広域的
供給量	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長岡総合会館(アクシスカつらぎ)」「葦山文化センター（葦山時代劇場）」は利用者が比較的多く、「大仁市民会館」も一定の利用がありました。</li> <li>類似自治体の公会堂・市民会館と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均の約 1.3 倍と大きく、1 施設当たりの規模は平均と同程度で（※公共施設状況調書 2014 年度 総務省より）、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。</li> </ul>	多い
機能・汎用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設機能のうち、舞台やホールは汎用性が低く、会議室やギャラリーなどは、汎用性は高いです。「長岡総合会館(アクシスカつらぎ)」「葦山文化センター（葦山時代劇場）」は複合施設として、コンサートやあらゆる芸術文化の鑑賞、活動に利用できる施設です。</li> <li>施設を構成するホール、会議室や貸館などは、他施設との重複があり、機能連携、機能統合など、施設のあり方を見直し、適正な機能や建物規模を検討する必要があります。</li> </ul>	やや高い

38

新(改定案)

## (1) 市民文化系施設/b.文化施設

## ア 施設の概要

- 文化施設は、文化及び観光の振興を図るため、市内に 3 施設を設置していましたが、大仁市民会館は、老朽化のため施設の使用を取りやめ、代替施設として、旧大仁高校を借受け、市民交流センター（大仁くぬぎ会館）として 2017（平成 29）年 4 月から運用を開始しています。
- いずれの施設も、大ホール、多目的ホール、集会室、ギャラリー、会議室、研修室、展示室、資料室、視聴覚室などで構成され、市民が各種イベントや会議などで利用しています。
- 大ホールや多目的ホールは、音楽や演劇などに特化した機能が備わっていますが、施設間の機能の重複がみられ、稼働率が 50%を下回る施設もあります。
- また、会議室や研修室などの貸館機能についても、施設間の機能の重複がみられます。

## イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長岡総合会館(アクシスカつらぎ)」「葦山文化センター（葦山時代劇場）」については市の文化・芸術活動の中心施設であり、利便性も高く、今後も継続的に市が提供主体となることが望ましい施設です。</li> <li>施設に必要とされる集客力や多様なニーズに対応するため、民間事業者による運営の検討も必要です。</li> </ul>	行政主体 (一部民間)
提供圏域	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設は市域全体や市外からの利用もあり、広域的な提供圏域を有しています。</li> </ul>	広域的
供給量	<ul style="list-style-type: none"> <li>「長岡総合会館(アクシスカつらぎ)」「葦山文化センター（葦山時代劇場）」は利用者が比較的多く、「大仁市民会館」も一定の利用がありました。</li> <li>類似自治体の公会堂・市民会館と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均の約 1.3 倍と大きく、1 施設当たりの規模は平均と同程度で（※公共施設状況調書 2014 年度 総務省より）、適正な施設規模と配置を検討する必要があります。</li> </ul>	多い
機能・汎用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設機能のうち、舞台やホールは汎用性が低く、会議室やギャラリーなどは、汎用性は高いです。「長岡総合会館(アクシスカつらぎ)」「葦山文化センター（葦山時代劇場）」は複合施設として、コンサートやあらゆる芸術文化の鑑賞、活動に利用できる施設です。</li> <li>施設を構成するホール、会議室や貸館などは、他施設との重複があり、機能連携、機能統合など、施設のあり方を見直し、適正な機能や建物規模を検討する必要があります。</li> </ul>	やや高い

38

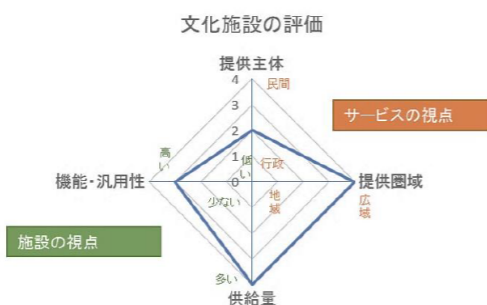


(1) 市民文化系施設/b. 文化施設

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

総合評価

提供主体では再配置の自由度は低いですが、提供圏域や供給量、機能・汎用性では再配置の自由度が高いです。全体として一定程度再配置手法を選択できる可能性があります。



ウ 再配置の方向性

再配置の方向性

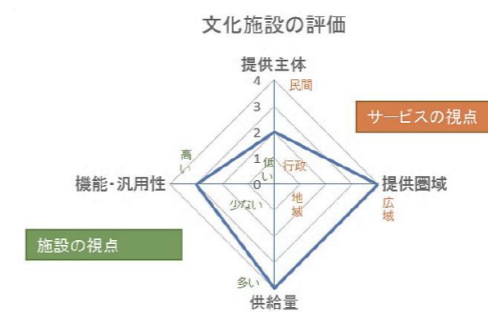
- ・市民の文化・芸術活動や市を代表する催しなど、集まりの拠点となる施設として位置づけます。
- ・主に文化・芸術活動の研修・稽古・学習、発表・展示機能、コンベンション機能などを支える施設としての機能を展開します。
- ・災害時に備え、広域避難所などに指定されており、市民の安全の確保のための役割を担います。
- ・市民の施設利用も多く、その機能の必要性が高いことから、基本的には市が中心となり施設の維持を図ります。施設の特性によっては、一部民間の協力及び参加による管理・運営を行います。
- ・今後の施設のあり方については、市の将来人口、将来人口構成などを考慮し、同種の施設との機能連携による適正な施設規模、施設集約化などの検討及び、廃止施設の跡地利用についての検討も必要です。
- ・集会施設や社会教育系施設など、関連する施設との連携を図ることも必要です。

(1) 市民文化系施設/b. 文化施設

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

総合評価

提供主体では再配置の自由度は低いですが、提供圏域や供給量、機能・汎用性では再配置の自由度が高いです。全体として一定程度再配置手法を選択できる可能性があります。



ウ 再配置の方向性

再配置の方向性

- ・市民の文化・芸術活動や市を代表する催しなど、集まりの拠点となる施設として位置づけます。
- ・主に文化・芸術活動の研修・稽古・学習、発表・展示機能、コンベンション機能などを支える施設としての機能を展開します。
- ・災害時に備え、広域避難所などに指定されており、市民の安全の確保のための役割を担います。
- ・市民の施設利用も多く、その機能の必要性が高いことから、基本的には市が中心となり施設の維持を図ります。施設の特性によっては、一部民間の協力及び参加による管理・運営を行います。
- ・今後の施設のあり方については、市の将来人口、将来人口構成などを考慮し、同種の施設との機能連携による適正な施設規模、施設集約化などの検討及び、廃止施設の跡地利用についての検討も必要です。
- ・集会施設や社会教育系施設など、関連する施設との連携を図ることも必要です。

(1) 市民文化系施設/b.文化施設

工 再配置計画

再配置計画の内容

- サービスの提供圏域がやや広域で、同種の施設を複数配置していることや、施設全体の供給量も多いことから、ホール、多目的ホール、会議室などの貸館機能や、共有空間などの統合を図り、すべての文化施設を1つに集約します。また、あわせて稼働率の低い貸館機能を有する集会施設(センター的施設)との複合・多機能化を図ります。
- なお、再配置を検討する際は、子育て支援施設や保健・福祉施設などとの複合・多機能化を検討します。
- 大仁市民会館は、2017(平成 29)年 4 月から大仁くぬぎ会館(旧大仁高校)に移転し運用を開始していますが、10 年間の借用期限があることや文化施設の運営面での効率化を図るため、文化施設の大規模改修期(前期～中期)に対応することを基本とします。
- 文化施設は、敷地規模も大きく、交通利便のよい位置に配置されていることから、拠点となる文化施設 1 箇所にて再配置を図ります。

《再配置スケジュール》

前期 (2016(平成 28)～ 2025(平成 37)年度)	中期 (2026(平成 38)～ 2035(平成 47)年度)	後期 (2036(平成 48)～ 2045(平成 57)年度)
長岡総合会館(アクシスカつらぎ)		
葦山文化センター(葦山時代劇場)		
大仁市民会館		

《凡例》 ○○：機能縮減等 ○○：機能統合・複合化等 ○○：民間移管 ○○：広域連携

再配置にあたっての留意点

- 拠点となる施設の位置は、人口の集積状況や交通利便性の高い位置を候補地として検討する必要があります。
- 自家用車で施設を利用する人の利便性確保のため、自家用車の駐車スペースの確保を検討します。
- 施設計画においては、利用者の利便性確保や施設の効率的な管理・運営を図ります。

再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
	3	15,921.51 m <sup>2</sup>	1	9,600 m <sup>2</sup>

(1) 市民文化系施設/b.文化施設

工 再配置計画

再配置計画の内容

- サービスの提供圏域がやや広域で、同種の施設を複数配置していることや、施設全体の供給量も多いことから、ホール、多目的ホール、会議室などの貸館機能や、共有空間などの統合を図り、すべての文化施設を1つに集約します。また、あわせて稼働率の低い貸館機能を有する集会施設(センター的施設)との複合・多機能化を図ります。
- なお、再配置を検討する際は、子育て支援施設や保健・福祉施設などとの複合・多機能化を検討します。
- 長岡総合会館(アクシスカつらぎ)と葦山文化センター(葦山時代劇場)の更新時期は計画期間外ですが、集会施設(センター的施設)である葦山農村環境改善センターが後期に更新時期を迎えることから、施設の老朽化の状況や貸館機能の利用状況などを踏まえ複合・多機能化を図ります。
- 大仁市民会館の機能は、2017(平成 29)年 4 月から大仁くぬぎ会館(旧大仁高校)に移転し運用を開始しています。しかし、令和 7 年度までの借用期限があることから、今後の運用については、貸主である静岡県と協議していくとともに、施設の老朽化や利用の状況などを勘案しつつ慎重に判断することが必要です。

《再配置スケジュール》

前期 (2016(平成 28)～ 2025(令和 7)年度)	中期 (2026(令和 8)～ 2035(令和 17)年度)	後期 (2036(令和 18)～ 2045(令和 27)年度)
		長岡総合会館(アクシスカつらぎ)
		葦山文化センター(葦山時代劇場)
大仁市民会館(令和 2 年度売却)		

《凡例》 ○○：機能縮減等 ○○：機能統合・複合化等 ○○：民間移管 ○○：広域連携

再配置にあたっての留意点

- 複合・多機能化を図る際は、人口の集積状況や交通利便性の高い位置を候補地として検討する必要があります。
- 自家用車で施設を利用する人の利便性確保のため、自家用車の駐車スペースの確保を検討します。
- 施設計画においては、利用者の利便性確保や施設の効率的な管理・運営を図ります。



(1) 市民文化系施設/b.文化施設

他自治体の取組事例

図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設 (神奈川県大和市)

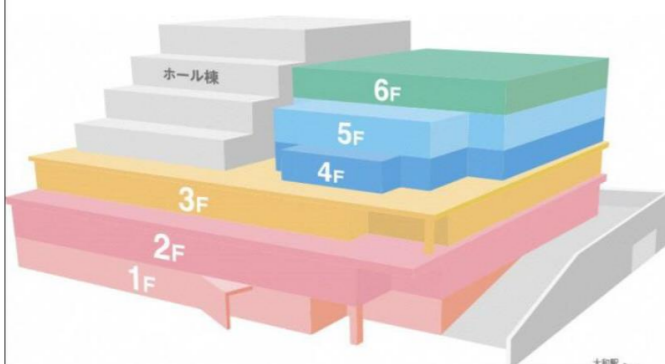
【施設概要】

施設名称：大和市文化創造拠点シリウス  
 延床面積：22,904 m<sup>2</sup>  
 (その他：民間施設・全体共有・再開発ビル 27,608 m<sup>2</sup>)  
 建設年度：2016 年 11 月



【再配置内容】

老朽化した生涯学習センターホールの建て替えという長年の懸案事項や文化施設の不足など、文化施設の整備が大きく遅れていた。そこで、高齢化社会も踏まえた文化施設の必要性から、駅周辺で計画されていた市街地再開発事業で建設されるビルに子供からお年よりまで全ての世代が利用できる施設として整備。大型図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、子育て支援施設と併せた文化創造拠点とした。この施設は「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、国から生活環境または開発に及ぼす影響の緩和を目的として交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の交付を受け整備されている。



6階	生涯学習センター	市民交流施設、講習室、会議室、調理実習室等
5階	図書館	地域資料コーナーや読書室等も配置
4階		読書テラスや健康コーナー等も配置
3階	大和こどもの国	こども向けの屋内広場、図書館、保育室、子育て支援施設等
2階	市民交流フロア	行政施設、イベント観光協会、交流ラウンジ他
1階	芸術文化ホール	ホール、総合案内、カフェ、放送スタジオ(地域情報発信等)他

※図書施設は4・5階以外にも、1階(雑誌等)、2階(政治法律等)、3階(こども図書館・シアターブース等)に設置されている。

(1) 市民文化系施設/b.文化施設

再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
	3	15,921.51 m <sup>2</sup>	1	9,600 m <sup>2</sup>

他自治体の取組事例

図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設 (神奈川県大和市)

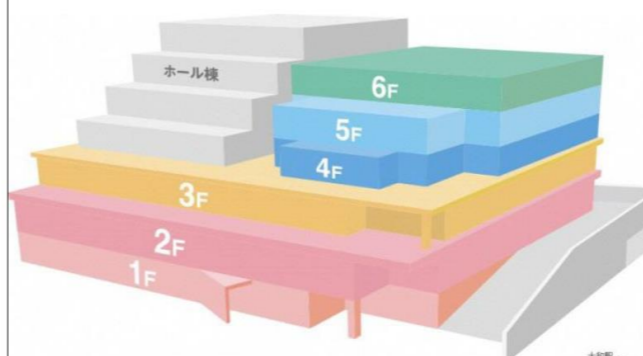
【施設概要】

施設名称：大和市文化創造拠点シリウス  
 延床面積：22,904 m<sup>2</sup>  
 (その他：民間施設・全体共有・再開発ビル 27,608 m<sup>2</sup>)  
 建設年度：2016 年 11 月



【再配置内容】

老朽化した生涯学習センターホールの建て替えという長年の懸案事項や文化施設の不足など、文化施設の整備が大きく遅れていた。そこで、高齢化社会も踏まえた文化施設の必要性から、駅周辺で計画されていた市街地再開発事業で建設されるビルに子供からお年よりまで全ての世代が利用できる施設として整備。大型図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、子育て支援施設と併せた文化創造拠点とした。この施設は「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、国から生活環境または開発に及ぼす影響の緩和を目的として交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の交付を受け整備されている。



6階	生涯学習センター	市民交流施設、講習室、会議室、調理実習室等
5階	図書館	地域資料コーナーや読書室等も配置
4階		読書テラスや健康コーナー等も配置
3階	大和こどもの国	こども向けの屋内広場、図書館、保育室、子育て支援施設等
2階	市民交流フロア	行政施設、イベント観光協会、交流ラウンジ他
1階	芸術文化ホール	ホール、総合案内、カフェ、放送スタジオ(地域情報発信等)他

※図書施設は4・5階以外にも、1階(雑誌等)、2階(政治法律等)、3階(こども図書館・シアターブース等)に設置されている。